

囲碁講座

初歩の初歩



数の場合は公開抽選。1月9日(金)10時〜ロビーにて。

囲碁の対局を通じて地域の仲間づくりをしてみませんか。今回は、囲碁に興味はあるけれどまったく初めてのの方が対象です。

- ▼とき別表のとおり
- 月曜日 14時〜16時
- ▼ところ 芝久保公民館
- ▼対象 市内在住・在勤者(囲碁をこれから始める方に限ります)
- ▼定員 20人
- ▼講師 師 神戸守一(日本棋院三段・田無囲碁同好会所属) 高野光夫(ほのほの囲碁教室会長)
- ▼申込 往復はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号・年代を記入して芝久保公民館へ。1月7日(水)必着。応募多

回	月日	内容
1	1/19	講義(碁のルールを学ぶ)
2	2/2	実技指導(石の連絡と切断)
3	2/9	実技指導(生きる石と死ぬ石)
4	2/16	実技指導(石の接触戦)
5	3/2	実技指導(陣地の囲い方、碁の終わり方)

地域で創る教育ネットワーク講座

芝久保公民館

青少年特有の行動・心理を理解して、どのように地域の中で彼らを見守り、支えていくか。青少年関係活動実践家の報告を聞いて、ネットワーク創りも視野に入れながら学んでいきます。

- ▼とき 1月24日・31日 土曜日 14時〜16時
- ▼ところ 芝久保公民館
- ▼対象 市内在住・在勤・在学者
- ▼定員 20人(申込順)
- ▼講師 師 萩原建次郎(駒沢大学准教授)、嶋田安民(青少年の自立支援フリースペースとんぼ代表)
- ▼申込 1月8日(水)9時から 電話で芝久保公民館へ

芝久保公民館

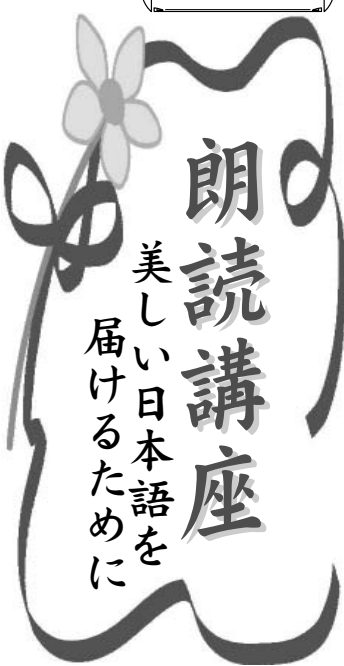
ちいさな展示会

★ちりめん作品展★ 「四季折々を楽しむ」

今月は、柳沢にお住まいの奥山佐代子さんと有働富美子さんの「ちりめん屋さとも」の作品展です。「季節を感じながら、一年を通しての作品を楽しんでいます。今回はお正月、お月見、季節のお花を、タペストリーや置物で表現しました。ぜひご覧ください。」

- ▼とき 1月28日(水)〜2月11日(水)
- ▼ところ 芝久保公民館
- ※「ちいさな展示会」では、作品や趣味で集めているものなどを募集中です。

ひばりが丘公民館



朗読講座

美しい日本語を届けるために

「朗読」は「言葉」と「心」を「声」にのせて届ける「ミニ二セッション」です。美しい日本語で、話すようにいきいきと表現できたら…。あなたも、作品世界を「声」にして、感動を共有する喜びを体感してみませんか。

- ▼とき 別表のとおり
- 木曜日 14時〜16時
- ▼ところ びばりが丘公民館
- ▼対象 市内在住者
- ▼定員 15人(申込順)
- ▼講師 師 長谷由子(舞台朗読家・元アナウンサー)
- ▼申込 1月5日(月)9時から 電話でひばりが丘公民館へ
- *昨年参加できなかった方を優先

回	月日	内容
1	1/15	講座オリエンテーション・自己紹介・基礎練習①
2	1/22	基礎練習②(呼吸法、発声、滑舌など)
3	1/29	作品を読む①(『日暮れ竹河岸』より「うぐいす」著・藤沢周平)
4	2/5	作品を読む②
5	2/12	作品を読む③
6	2/19	発表会

421-1125 保谷駅前公民館

保谷駅前公民館

伝統音楽講座

尺八を楽しむ



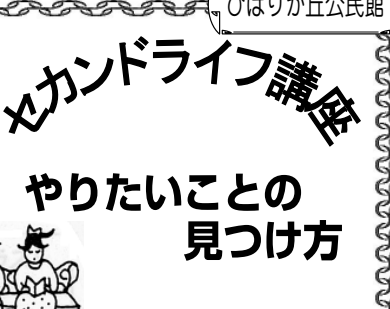
日本の伝統的な楽器の中でも難しいとされている尺八ですが、多彩な表現力に富み、呼吸法が健康の増進に役立ちます。独学で練習している方も多いと思いますが、呼吸や姿勢の基礎から上達するコツ、合奏する楽しみ方を一緒に学びませんか。

- ▼とき 別表のとおり
- ▼ところ 保谷駅前公民館
- ▼対象 市内在住・在勤・在学者
- ▼定員 20人(申込順)
- ▼講師 師 筒石賢昭山(東京学芸大学教授・尺八師範)
- ▼テキスト代 500円

回	月日	時間	内容
1	1/25(日)	10時〜正午	音だし、呼吸、姿勢
2	2/2(月)	18時半〜20時半	尺八基礎技法
3	2/9(月)		尺八基礎応用
4	2/16(月)		わらべうた
5	2/24(水)	18時〜20時半	自主練習
6	3/2(月)	18時半〜20時半	発表会

持ち物 尺八・露きり
申込 1月7日(水)14時から 電話で保谷駅前公民館へ

ひばりが丘公民館



セカンドライフ講座

やりたいことの見つけ方

老後?まだそんな歳じゃないよと思ってるあなた…。さあこれからです!

おもしろいことは、自分のやりたいこと。あなたのセカンドステージを、仲間と一緒に見つけてみませんか。

- ▼とき 別表のとおり
- 土曜日 10時〜正午
- ▼ところ びばりが丘公民館

回	月日	内容	講師
1	1/17	心は20歳のわたし・ぼく	渡辺 美恵(NPO法人生活企画ジェフリー理事長)
2	1/24	豊かな暮らしは 伴侶とともに	
3	1/31	ボランティア体験談と車椅子	西東京市社会福祉協議会(西東京ボランティア・市民活動センター職員)
4	2/7	経験・知識・元気で輝く	
5	2/14	仲間といっしょに地域デビュー	団塊くるねっと(東久留米団塊世代ネットワーク代表者)

▼対象 概ね団塊世代の市内在住・在勤者
▼定員 20人(申込順)
▼申込 1月6日(火)9時から 電話でひばりが丘公民館へ

地域へみる

公運審コラム

子育て支援と公民館

公運審委員 萩原建次郎
現在、西東京市は全市のな施策として子育て支援に取り組んでいます。それを機に、公運審でも、子育て支援についての公民館の役割を再検討する諮問が昨年1月に出されました。これを受けて、私たち委員も西東京市の子育て支援施策体系を分析し、内容を精査してまいりました。そのなかで気づいたことは、「世代のつながりと地域ぐるみの子育て」という視点の必要性でした。この気づきは同時に、公民館が結果的に地域ぐるみの子どもが育つ環境を生み出しているという発見をもたらしました。

その一方、人が育ち・人を育てるといふ営みが「サービスタ」として代行され、成長の課題が問題別に分類され、各種専門機関が対処するシステムの中にとりこまれてきている現代社会の特徴も見えてきました。そうしたシステムの充実が時代の要請でもあると同時に、私たちの生活の全体像が見えなくなり、個人同士でもトータルな関わりあいが持ちにくくなってきていることの裏返しとも言えそうです。子どもが健やかに育つ環境として、老若男女さまざまな人々の豊かな関わり合いが織り成す場をいかに創生していくか。その意味で、公民館がこれまで取り組んできた地域づくりの視点は、だからこそ重要な意味を持つのではないのでしょうか。